

第35回横浜マリナーボールカップ女子 Bゾーン決勝 8月3日(日)

藤の木バレーボールクラブ(横浜南部) 31 VS 37 戸塚バレーボールクラブ(横浜西部)

- 1 Q 藤の木は、ゾーンディフェンス。戸塚は、オールコートマンツーマンディフェンスでスタート。藤の木ボールでスタートし、開始早々、#12のジャンプシュートで先制するも、その後シュートが決まらず、追加点を奪えない。一方、戸塚は#4を中心に攻撃をするも、ゾーンディフェンスを攻めきれず、得点が出来ない。中盤を過ぎ、戸塚#4のリバウンド、スティールからレイアップに持ち込み得点する。しかし、藤の木も#6、#11、#12がミドルシュート優位に立つ。終盤、戸塚は#4がドライブからバスケットカウントを得て、フリースローも決め粘りを見せる。8-7の藤の木1点リードで1Q終了。
- 2 Q 両チームともに、オールコートマンツーマンディフェンスでスタート。戸塚ボールでスタート。開始早々、#8のドライブシュートで得点し、逆転。幸先良いスタートを切る。藤の木も直ぐに#5のジャンプシュートで再逆転する。しかし、戸塚は、#9のジャンプシュート、#7のドライブシュート、ジャンプシュートで追加点を奪い、徐々に点差を広げていく。一方、藤の木は、戸塚のマンツーマンディフェンスを攻めきれずに、中盤以降、得点を奪えなかったことが響き、21-12と戸塚が逆転し、9点リードで前半を終了。
- 3 Q ベストメンバーとなるが、ディフェンスは両チームとも変わらず、オールコートマンツーマン。藤の木ボールでスタート。#6のハイポストからのジャンプシュートで良いスタート切ったと思われたが、直ぐに戸塚#4からゴール下の#9へパスが通り得点し、流れを掴ませない。戸塚は、#4を中心に積極的にドライブを仕掛け得点する。一方の藤の木は、インサイドを攻めきれず、ハイポスト付近からのシュートで得点する対照的な展開。このQ同点で終え、29-20と戸塚9点差を守り、最終4Qへ。
- 4 Q 両チームとも、3Qとメンバー、ディフェンス変わらず。戸塚ボールでスタート。#4のステップイン、#7のスティールから#4の速攻と点差を広げる。一方、藤の木は、#12のジャンプシュート、#6のハイポストからの1対1などインサイド中心の攻撃を行ない、中盤得点の止まった戸塚と点差を縮める。終盤、戸塚も#8のドライブシュート、#9のジャンプシュートで得点する。藤の木も#5のドライブシュートで連続得点し、ディフェンスではプレッシャーを掛け粘りを見せるが、戸塚の#4を中心にボールコントロールされ、試合終了。37-31で戸塚が勝利し、Bゾーンの優勝を決めた。

協力／ 横浜市南部ミニバスケットボール連盟技術委員会